

めざして祖国から移住してきた同じ境遇の仲間たちなので、お互いを分かり合えていた気がします。彼らの何人かは他の州に引っ越しましたが、多くはユーコンに残っています。今でも一緒に食事をしたり遊んだりする友人、SNSでつながっている友人も多く、このマルチカルチュラルな交流の経験は私の大切な財産です。

当初の目標の永住権を取得した今、私はホテルの仕事を辞め主婦として日々を送っています。家事をはじめ、夏は毎週末のキャンプ、ロードバイク、ネコの散歩、庭の手入れや野菜づくり、冬はカーリング、薪ストーブ用の薪割りや雪かきなど、思いのほか忙しいです。妻はカレッジで会計処理のコースを卒業してあと、州政府に採用され経理担当の職員として働いています。コロナ禍でリモートワークが中心です。娘は今年5月にハイスクールを卒業予定です。僕も、次の職探しを開始したところです。

コロナ感染は、ここユーコンでも深刻です。ワクチン接種率(2回)は90%程度といわれていますが、学校を中心に感染が広がっています。そのため、僕はほぼ毎日自宅で過ごすことが多く(買い物もオンラインで注文し、ピックアップ)、この2年間旅行も行けず(ユーコンを一步も出ていない)、外食も控えていて友達と会えるのはキャンプ場だけという有り様です。僕たちは日本にも3年帰っていません。コロナ禍でカナダへの移民も減少していて、ホワイトホースでは飲食店を中心に人手不足が深刻です。このままの状態であと何年我慢すればいいのか、先の見えないパンデミックが一刻も早く収束することを願うばかりです。以上、カナダ・ユーコン準州での僕の第二の人生の一端を紹介いたしました。こんな生活もあるんだなと思っていたければ幸いです。

その後もたかしさんファミリーには変化が  
おありのようです♪

たかしさん ありがとうございます!

ニジジヤ店頭には全編用意してあります。  
どうぞ手に取ってお読みになって下さい。

